

氏名	植 田 昌 敏		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 7 0 1 号		
学位授与の日付	昭和50年 9 月 30 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)		
学位論文題目	肝疾患例における肝ヘキソキナーゼ・アイソザイムに関する研究		
論文審査委員	教授 大 藤 真	教授 平 木 潔	教授 水 原 舜 爾

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

Cellogel 膜電気泳動法による、少量の針生検肝組織からヒト肝 hexokinase アイソザイムを分離定量する方法を考案し、急性肝炎3例、慢性肝炎12例、肝硬変症7例、原発性肝癌2例、肝転移の胃癌1例および対照例4例につき検討を加えた。肝固有の glucokinase (hexokinase IV) 活性は対照例に比して急性肝炎極期、慢性肝炎増悪期、肝硬変症全例の肝および肝癌組織で減弱ないし消失した。Hexokinase IIIは急性肝炎および慢性肝炎増悪期で著明に活性が増加し、急性肝実質障害に反応して上昇するものと考えられた。これに対し、hexokinase Iは慢性肝炎から肝硬変症(4~8倍)、さらに肝癌(約1.5倍)と進行するに従って活性が上昇する傾向がみられ、本アイソザイムが肝炎慢性化の指標となりうる可能性が示唆された。以上の結果から肝 hexokinase アイソザイム・パターンの検討は肝炎、肝硬変各病態の解析に極めて有用であることが結論された。

#### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究者は、肝疾患における肝ヘキソキナーゼ・アイソザイムについて、本研究者の考案した方法によって研究したものであるが、従来余り確立されていなかった本酵素アイソザイムと各種肝病態との関連性について重要な知見をあげ得たものと認める。よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。